

単元名：筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

教材「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」（光村6年下）

## 主張文 I

# 平和への主張

U・T

皆さんは、核兵器のおそろしさを知っていますか。ぼくは、広島や長崎に原爆が落とされた後の町の様子の写真を見せられて、思わず顔をそむけてしまいました。放射線を浴びて皮ふがただれた人、やけた舌が三角形になって出ている人。道路に横たわるたくさんの死体。思いだすだけでも身ぶるいしてしまいます。一瞬にして、人間をこんな残こくな姿に変えてしまう核兵器を、なぜ作る必要があるのでしょうか。なくそうとは考えないのでしょうか。そして、ぼくに何かできることはないのでしょうか。

核兵器を現在保有している国は八カ国、核弾頭の数は一万六千発とも、四万発とも言われています。広島や長崎に落とされたような原子爆弾がこれだけ存在することに、ぼくは驚き、大きないかりを感じました。あれだけ人々を苦しめ、残酷な死なせ方をしていることを分かっているはずなのに、「なぜだ。」という気持ちでいっぱいになります。

核保有国の言い分は、こうです。核兵器を持った国だけが強くなってしまいう。でも、二つの国が持っている、核兵器を使えば、両方ともつぶれてしまうことになってしまうから、核兵器を使うことができなくなる。これを核よく止力というのだそうです。まるで、核兵器を持つことが当たり前のような考え方です。ぼくは、へ理くつだと思います。人を殺す道具を持つことが許されていていいわけがありません。そんなことを言う人は、自分や自分の家族がそんな目に合うことを想像してみればいいのです。そうしたら絶対に作ってはいけないものと分かるのではないのでしょうか。

でも、核兵器をなくす取組もたくさんされているのを知った時、ぼくは少しだけ安心しました。まず、核拡散防止条約です。これ以上、核兵器が広がらないようにするための条約です。でも、なくすとまでは言っていません。今保有している国は持っていてもいいのです。これでは不十分です。そこで、国単位ではなく、一般の人たちが立ちあげた運動があります。「グローバルゼロ」や核兵器解体基金です。また、核兵器廃絶を求める署名活動も行われています。本当に核兵器のおそろしさを知る人々が自分たちから立ち上がり、世界を変えようとしているのです。そして、つい最近、アメリカのオバマ大統領の発言をもとに、「核なき世界」決議がなされました。

ぼくは、ぼくと同じ思いを持ち、そしてその思いを実現するために活動する人がたくさんいることに安心し、ぼくも何かしなければいけないと思いました。ぼくたちは、一瞬のうちに罪もない人々の尊い命をうばう核兵器を、絶対に許さないという強い意志を持ち続けます。そして、その悲惨さをできるだけ多くの人に伝えたり、募金や署名活動に参加したりするなど、今自分にできること取り組んでいきたいと思います。